

実践的な防災訓練に ご参加ください!

近年、各地で想定外の自然災害が発生し、大きな被害が相次いでいます。榎田川流域で生活する機殿地区も、いつ大きな災害に直面するかわかりません。安全部会では昨年に引き続き、豪雨災害を想定した防災訓練・講演事業を11月4日（日）に実施します。今年の防災訓練は、浸水被害を想定した「土嚢の積み方体験」、断水を想定



した「給水車による給水体験」など、いざという時に備えた実践的な“体験型”の訓練を行います。また、講演事業では松阪市消防本部防災訓練センターの協力を得て「自分たちで行う防災 ～自助・共助・公助～」をテーマにご講演いただきます。この機会にぜひ防災訓練と講演にご参加いただき、日頃から防災意識を高め、災害時に的確に対応できる判断力と行動力を身につけてください。



はたどのまちづくりだより に情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年2～3回発行の予定です。（都合により変更する場合があります）

まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただくと助かります。

情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351



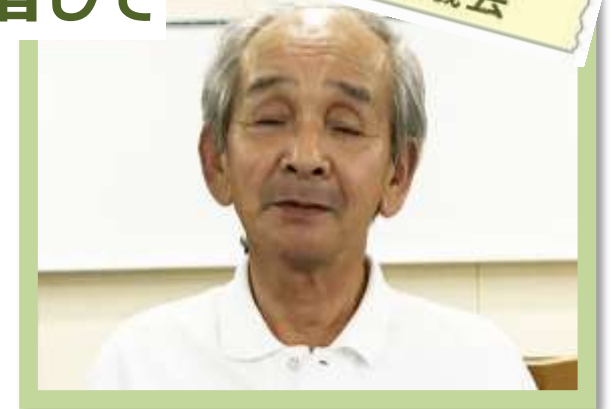
はたどのまちづくりだより

地域課題の解決を目指して

機殿まちづくり協議会：会長 横井富夫

今年度から機殿まちづくり協議会の会長に就任した横井です。澤村前会長から任を引き継ぎましたが、そのご苦勞をひしひしと感じる日々です。機殿地区のまちづくりに尽力いただきありがとうございます。

さて、会長として私に与えられた責務はこの地域の課題を一つでも多く解決することと認識しています。まちづくり協議会は自治会の垣根を超えた大きな組織のため、色々な要素を含んだ難しい面もあります。それを踏まえて組織の再編成、行事の見直し等は必要だと感じています。また、自治会や公民館との関係性なども改めて考えるべき時期であるとも感じます。こうした組織の見直しは、最終的にこの地域の主体性を育み、活気ある地域づくりにつながると考えています。ただ、現状のまちづくりは残念ながら関わる人が少ないように感じます。この地



域もご多分に漏れず少子高齢化や、災害の危険性が高い臨海部への不安からの離村等、人口・人材に関する課題、他にも高齢者労働や農業関係の新組織など、めまぐるしく変動する時流への対応も迫られています。これらは、今は“対岸の火事”と感じる人もいずれ“我が事”になります。一人でも多くの方が、お互いを尊重し合い、建設的な意見を出し合うことで地域課題は解決されるはずで。機殿地区を、自分たちだけでなく次の世代、次の次の世代が誇りを持って暮らしていけるにまちに導きたいと強く願っています。そのためには住民の皆さんのお力添えが必要です。皆さん、ぜひ力を貸してください。よろしくお願いします。

全員で考え全員で実行 機殿のブランド“農”

農業
振興部会



農業部会では機殿の特性のひとつである“農”を生かし、どのようにPRするかを部会全員で考え、実行できるよう努めています。特に米、苺、野菜のブランド化と、これらを生かした“食への発展”にも注力しています。ただ、こうした取り組みには時間も労力もかかります。今はまだ道半ばの状態ですが、我々の思いは次世代にも受け継ぎ、農の魅力溢れる機殿ブランドの食材や商品が世に送り出されることを願って止みません。

私たちは本業の仕事もありながら、さつまいもやジャガイモなどの野菜づくり、機殿まつりの企画・準備・実行、先進事例の視察・研究、松阪市の元気応援事業への申請・プレゼンと大変ながらも皆で力を合わせて頑張っています。これからも精力的に事業を行います。応援よろしくをお願いします。

環境に優しく 生ゴミを堆肥化

環境・エコ
推進部会



人が生活する上で毎日排出される生ゴミは社会課題のひとつです。ゴミ処理に要する燃料の増加は地球規模の温暖化につながります。また、自治体の財政面の負担も大きく、平成29年度に松阪市がゴミ処理に要した費用は16億円で、住民1人につき1万円の換算になります。

こうしたことを踏まえて環境・エコ推進部会では、8月3日に「ダンボールコンポスト」講習会を開催しました。ダンボールコンポストは家庭から出る生ゴミを土壌改良剤を入れたダンボールに入れることで堆肥化する装置です。装置と聞くと

大げさですが、ダンボール箱1つで家庭から出るゴミの減量に役立つエコな取り組みです。環境に負荷をかけないためにもゴミを減らすことは大切です。日頃から極力「ゴミを出さない」ことを心がけ、「出したら再利用（繰り返し使用）」して、最後は「リサイクル（再循環）」させることを意識したいですね。

集落座談会と ウォーキング事業

健康
福祉部会



健康福祉部会では今年も9月から10月にかけて、集落座談会を自治会単位で開催しました。今年度は松阪市第四地域包括支援センターの協力を得て、近隣地域で実績のある「まかせて！ 漕代支援隊」のボランティア事例の紹介や、困りごとを声に出す「助け合い体験ゲーム」を実施。どちらも“ご近所同士の助け合い”を今の時代に合わせてこの地域でも実践できるよう紹介しました。10月6日には飯高町にある珍布峠（めずらしとうげ）に出向き、健康ウ

ォーキング事業を実施しました。このコースはアップダウンも少なく、足腰への負担も少ないため適度な運動の目安にもなります。また、この日は飯南町の粥見にある小規模多機能型居宅介護事業所「夢の元気村」への視察も行いました。視察で得た学びを機殿地区に還元できるよう事業にも活かしたいと思います。